

ねぎ登録農薬適用表(1) (殺菌)

野菜類登録の剤は別ページにまとめてあります。確認して使用してください。

登録内容は2022年9月現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	適用病害虫・雑草	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌消毒	劇	IRAC 8	クロールピクリン	—	1回(圃場)	<床土・堆肥>1穴当り3~5ml <圃場>1穴当り2~3m	萎凋病、白絹病、苗立枯病、センチュウ類 ケラ、ハリガネムシ類、ネキリムシ類、一年生雑草	—	—	くん蒸剤	土壌くん蒸	クロールピクリン	

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時の薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		1	ベンレート水和剤	定植直前	1回	500倍	—	小菌核腐敗病、萎凋病	○	○	水和剤	30分間苗根部浸漬	ペノミル		
			定植前	100~200倍		—	500倍 セル成型育苗トレイ1箱(30×60cm、使用土壌約5L)当り500mL					5分間苗根部浸漬			
			定植前	1回	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g		小菌核腐敗病	○	○	水和剤	灌水			
			収穫30日前まで	1回	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	小菌核腐敗病	○	○	水和剤	散布				
		P2	オリゼメート粒剤	土寄せ時 但し収穫30日前まで	2回以内	6kg	—	軟腐病	○	×	粒剤	株元散布	プロベナゾール		
		3	モンガリット粒剤	生育期 但し収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	4~6kg	—	小菌核腐敗病	○	○	粒剤	株元散布	シメコナゾール	
	定植前			6kg			—	黒腐菌核病							
	土寄せ時 但し収穫14日前まで			4~6kg			—	白絹病							
		3、M3	テーク水和剤	収穫14日前まで	3回以内	600倍 (100~300g)	167g	さび病、べと病、黒斑病、葉枯病	○	○	水和剤	散布	シメコナゾール、マンゼブ		
		3	サブロー乳剤	収穫前日まで	5回以内	800~1,000倍 (100~300g)	125~100ml	さび病	○	○	乳剤	散布	トリホリン		
		M5	ダユニール1000	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	べと病、黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病、さび病	○	×	フロアブル	散布	TPN	
		40、M5	プロボーズ顆粒水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	べと病、葉枯病	○	○	顆粒水和剤	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル、TPN	
		40、45	ザンプロDMフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,500~2,000倍 (100~300g)	67~50ml	べと病	○	○	フロアブル	散布	アメトクラジン、ジメトモルフ	
		40、M1	フェスティバルC水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	べと病	○	○	水和剤	散布	ジメトモルフ、塩基性酸化銅	
		M1	ヨネボン水和剤	収穫7日前まで	4回以内	500倍 (100~300g)	200g	さび病、黒斑病、べと病、軟腐病	○	×	水和剤	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅		
		24、M1	カスミンボルドー	収穫14日前まで	2回以内	農業総使用回数、合わせて2回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅	
		31、24	カセット水和剤	収穫14日前まで	2回以内	農業総使用回数、合わせて2回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、オキシニリック酸	
		31	スターナ水和剤	収穫7日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	軟腐病	○	○	水和剤	散布	オキシニリック酸	
		19	ポリオキシシAL水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,000倍 (100~300g)	100g	黒斑病、ネギアザミウマ	○	○	水和剤	散布	ポリオキシシ	
		19、M7	ポリベリン水和剤	収穫14日前まで	3回以内	農業総使用回数、合わせて3回以内	1,500倍 (100~300g)	67g	黒斑病、小菌核腐敗病、黄斑病、葉枯病、ネギアザミウマ	○	○	水和剤	散布	イミノクタジン酢酸塩、ポリオキシシ	
		2	ロブラール水和剤	収穫14日前まで	3回以内		500~1,000倍 (1L/1㎡)	—	白絹病	○	△	水和剤	株元灌注	イブロジオン	
	500倍 (0.5~1L/1㎡)						—	小菌核腐敗病							
	1,000~1,500倍						100~67g	黒斑病、ボトリチス葉枯病、小菌核腐敗病							
		4、11	ユニフォーム粒剤	土寄せ時 但し収穫45日前まで	1回	9kg	—	さび病、白絹病、べと病	○	○	粒剤	株元土壌混和	メタラキシルM アゾキシストロピン		
		11	ストロビーフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	さび病、黒斑病、黄斑病	○	○	フロアブル	散布	クレソキシムメチル		
		11	アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	べと病、黄斑病、さび病、黒斑病、葉枯病、リソクシア葉鞘腐敗病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン		
		11	メジャーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	さび病、べと病、黒斑病、葉枯病、白絹病、黒腐菌核病	○	○	フロアブル	散布	ピコキシストロピン		
		21	ランマンフロアブル	収穫3日前まで	4回以内	2,000倍 (150~300g)	50ml	べと病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド		
	P7	アリエッティ水和剤	収穫3日前まで	3回以内	800倍 (100~300g)	125g	疫病、べと病	○	○	水和剤	散布	ホセチル			
	7	アフエツフロアブル	生育期 但し収穫14日前まで	2回以内		1,000~2,000倍 (1g/㎡)	—	白絹病、黒腐菌核病	○	×	フロアブル	株元灌注	ペンチオピラド		
			収穫前日まで			2,000倍 (100~300g)	50ml	黒斑病、さび病、小菌核腐敗病、白絹病、葉枯病				散布			
	7	ハレード20フロアブル	収穫前日まで	3回以内		2,000~4,000倍 (100~300g)	50~25ml	黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病	○	○	フロアブル	散布	ピラジフルミド		
						2,000倍 (100~300g)	50ml	黒腐菌核病、さび病、白絹病							
	7	カナメフロアブル	収穫前日まで	4回以内		4,000~8,000倍 (100~300g)	25~12ml	さび病	○	○	フロアブル	散布	インビルフルキサム		
						4,000倍 (100~300g)	25ml	黒斑病							
						4,000~8,000倍 (100~300g)	25~12ml	白絹病							
						4,000倍 (100~300g)	25ml	黒斑細菌病							
	12	セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	黒腐菌核病、白絹病、小菌核腐敗病	○	○	フロアブル	散布	フルジオキシニル			

ねぎ登録農薬適用表(2) (殺虫)

登録内容は2022年9月現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100a調整時の重量	適用病害虫	浸透性	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤	4A		ベストガード粒剤	は種時	1回	5g/培土L	—	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	○	—	—	粒剤	育苗培土混和	ニテンピラム		
				定植当日		セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3~4)当り50g	—	ネギアザミウマ					散布			
				定植時		6kg	—	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ					植溝処理土壌混和			
				収穫前日まで	3回以内								株元処理			
	4A			スタークル顆粒水溶剤	定植前日~定植時	1回	50倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5~4.0)当り0.5g	—	アザミウマ類、ハモグリバエ類、シロイチモジトウ、タネバエ、ネギコガ	○	中	長	顆粒水溶剤	灌注	ジノテフラン	
					生育期 但し、収穫14日前まで	1回	400倍(0.4L/m ²)	—	ハモグリバエ類、トビイロヒョウタンゾウムシ、アザミウマ類					株元灌注		
					収穫3日前まで	2回以内	1,000倍(1L/m ²)	—	クロバネキノコバエ類、アザミウマ類					散布		
							2,000倍(100~300g)	50g	アザミウマ類							
	4A			ダントツ粒剤	植付時	1回	6kg	—	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、タネバエ	○	—	—	粒剤	植溝処理土壌混和	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意
					収穫3日前まで	4回以内	3~6kg	—	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ					株元散布		
	4A			ダントツ水溶剤	収穫3日前まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	○	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン	同成分剤の使用回数に注意
	劇	4A		モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50g	アザミウマ類	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	
	4A			アクタラ顆粒水溶剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ	○	中	長	顆粒水溶剤	散布	チアメトキサム	同成分剤の使用回数に注意
	2B、4A			ミネクトデュオ粒剤	育苗期後半	1回	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊当り40g	—	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、タネバエ、シロイチモジトウ	-	中	長	粒剤	散布	シアントラニプロール、チアメトキサム	同成分剤の使用回数に注意
					定植時	1回		6kg	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ネキリムシ類、タネバエ					植溝土壌混和		
					株元散布 収穫3日前まで	3回以内		—	アザミウマ類、シロイチモジトウ、ハモグリバエ類					株元散布		
	2B			ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	シロイチモジトウ、アザミウマ類、ハモグリバエ類	○	速	長	液剤	散布	シアントラニプロール	銅剤との混用注意、同成分剤の使用回数に注意
	2B			プレバソフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回	100倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g	—	ハモグリバエ類	○	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニプロール	
					収穫3日前まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	シロイチモジトウ、ネギコガ、ハモグリバエ類					散布		
	2B			ヨールバルフロアブル	育苗期後半~定植当日	1回	200倍 セル成型育苗トレイ1箱(約30×60cm、使用土壌約1.5~4)当り0.5g	—	ネギアザミウマ、ハモグリバエ類		速	長	フロアブル	灌注	テトラニプロール	
収穫前日まで					3回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	シロイチモジトウ、ネギコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類	散布							
						2,500倍	40ml	クロバネキノコバエ類								
劇	3A		フォース粒剤	定植時	1回	9kg	—	ネダニ類、クロバネキノコバエ類、ネキリムシ類(4~9kg)	-	-	-	粒剤	作業土壌混和	テフルトリン		
3A			ガードベイトA	生育初期	3回以内	3kg	—	ネキリムシ類	○	—	—	粒剤	株元散布	ベルメトリン		
劇	3A		アグロスリン乳剤	収穫7日前まで	5回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	シロイチモジトウ	○	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン		
						2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類、アザミウマ類、ネギコガ、ネギハモグリバエ								
1B			ダイアジノン粒剤5	は種時又は定植時	2回以内	4~6kg	—	コガネムシ類幼虫	○	—	—	粒剤	全面土壌混和又は作業土壌混和	ダイアジノン	同成分剤の使用回数に注意	
1B			スミチオン乳剤	収穫14日前まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	アブラムシ類	—	速	短	乳剤	散布	MEP		
						1,000倍(100~300g)	100ml	ネギコガ								
						700~1,000倍(100~300g)	143~100ml	アザミウマ類								
劇	14		リーフガード顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67g	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、ネギコガ	—	速	中	顆粒水和剤	散布	チオシクラム		

↓ 「殺虫剤」次ページに続きあり

ねぎ登録農薬適用表(3) (殺虫・除草剤)

用途	毒類	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時の重量	適用病害虫	浸透性	効果発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		15	カスケード乳剤	収穫14日前まで	3回以内	4,000倍 (100~300g)	25ml	シロイチモジトウ、ネギハモグリハエ、ネギアザミウマ、クロハネキノコバエ類	—	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン		
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫7日前まで	3回以内	1,000~1,500倍 (100~300g)	100~67g	シロイチモジトウ	—	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、ルフェスロン		
						1,000倍 (100~300g)	100g	ネギアザミウマ、ネギハモグリハエ								
		劇	6	アグリメック	収穫3日前まで	3回以内	500~1,000倍 (100~300g)	200~100ml	アザミウマ類、ネギハモグリハエ	—	速	短	乳剤	散布	アバメクテン	
			6	アニキ乳剤	収穫3日前まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50ml	シロイチモジトウ、ネギコガ	—	速	短	乳剤	散布	レビメクテン	
						1,000倍 (100~300g)	100ml	ネギアザミウマ、ハモグリハエ類								
			1B	マラソン乳剤	収穫7日前まで	6回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	アブラムシ類、アザミウマ類	—	速	短	乳剤	散布	マラソン	
						1,000倍 (100~300g)	100ml	ネギハモグリハエ								
		劇	13	コテツフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 (100~300g)	50ml	シロイチモジトウ、ヒョウタンゾウムシ類、ネギコガ、ネギハモグリハエ	—	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル	
			30	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000~3,000倍 (100~300g)	50~33ml	アザミウマ類、ハモグリハエ類、ネギコガ、シロイチモジトウ、クロハネキノコバエ類	○	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド	
			9B	コルト顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,000倍 (100~300g)	50g	ネギアザミウマ、ネギハモグリハエ、アブラムシ類	—	速	中	顆粒水和剤	散布	ビリフルキナゾン	
		劇	21A、FRAC39	ハチハチ乳剤	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	アザミウマ類、ネギコガ、シロイチモジトウ、アブラムシ類、クロハネキノコバエ類、ネギハモグリハエ、さび病、べと病	—	中	中	乳剤	散布	トルフェンピラド	
			UN	フレオフロアブル	収穫3日前まで	4回以内	1,000倍 (100~300g)	100ml	シロイチモジトウ、ネギアザミウマ	—	中	長	フロアブル	散布	ビリダリル	
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫3日前まで	3回以内	2,500~5,000倍 (100~300g)	40~20g	アザミウマ類	○	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
					5,000倍 (100~300g)	20g	シロイチモジトウ									
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍 (100~300g)	40~20ml	アザミウマ類、シロイチモジトウ、ネギハモグリハエ、ネギコガ	○	速	短	フロアブル	散布	スピトララム		
		29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍 (100~300g)	100~50g	ネギアザミウマ	○	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド		

用途	毒類	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
土壌処理除草剤		クレマート乳剤	定植活着後(雑草発生前)但し定植10日後まで	1回	200~400ml (100~150g)	一年生雑草	乳剤	全面土壌散布	ブタミホス	
		ロロックス	定植後 但し、収穫30日前まで (雑草発生前)	1回	100~150g (70~150g)	一年生雑草	水和剤	畦間土壌散布 雑草茎葉散布 又は全面散布	リニユロン	
			定植30日後以降中耕培土後、但し、 収穫30日前まで(雑草発生前期)		75~150g(100g)	一年生広葉雑草				
			ゴーゴーサン細粒剤F	定植後(雑草発生前)但し、定植10日後まで	1回	4~6kg	一年生雑草	粒剤	全面土壌散布	ペンディメタリン
		グラメックス水和剤	定植活着後(雑草発生初期)但し収穫30日前まで	1回	50g~150g(100g)	一年生雑草	水和剤	全面土壌散布	シアナジン	
茎葉除草剤(選択剤)		セレクト乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1回	50~75ml (100g)	一年生イネ科雑草	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	クレトジム	
		ナブ乳剤	雑草生育期イネ科雑草3~5葉期 但し収穫30日前まで	1回	150~200ml (100g)	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	
茎葉除草剤(非選択剤)		ラウンドアップマックスロード	耕起前又は定植5日前まで(雑草生育期)	3回以内	200~500ml (通常散布50~100g、少量散布5~50g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
			収穫30日前まで (雑草生育期・定植後時間処理)							
		タッチダウンQ	耕起又は定植7日以前 (雑草生育期)	3回以内	250~500ml (25~50g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートカリウム塩	
			畦間処理・雑草生育期 但し、収穫7日前まで							
		クサクリーン液剤	耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)	3回以内	250~500ml (通常散布50~100g、 少量散布25~50g、5~15g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グリホサートイソプロピル アミン塩	
			定植後時間処理 但し、収穫30日前まで(雑草生育期)							
		バスタ液剤	収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	2回以内	300~500ml (100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	
	毒	ブリグロックSL	畦間処理・雑草生育期 但し、収穫3日前まで 播種前又は植付前	3回以内	600~1,000ml (100~150g)	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	ジクワット・バラコート	

◆「グラメックス水和剤」は次の条件下で薬害の恐れがあるので注意する。①定植1ヶ月未満の活着が不十分な状態。②草丈が20cm以下の場合。③春期以降気温の高まる時期(20℃を超える)④砂土または砂壌土。